

JPN 107 Business Culture Essay

残業(ざんぎょう)は仕事の時間が終わっても働くことです。アメリカも日本も、色々な国の人は残業しますが、日本の残業は特に大変です。日本では一週間に45時間以上働いたら残業になります。Japan Payroll and Benefitsによると、残業代は状況によって給料の上に25%-60%になります。BBCによると、残業には二つの理由があります。日本は実際には人手不足で仕事を終えるために残業しなければならないそうです(bbc.com)。そして、もう一つの理由は社会の圧力です。社会の圧力によって、同僚や上司が仕事を終わる前に家に帰ることは失礼ですから、残業しなければなりません(bbc.com)。もう一つの問題はPTO(Paid time off)です。Jobs in Japanによると、会社で6ヶ月働く前に、病気になってもPTOを使えません。日本の残業は過労死の問題に繋がっています。日本の会社員が過労死するうなぎ上りで、その理由は長時間労働です。会社員は長時間働いて、病気になって、過労死になります。会社員はちょっと元気になるために”Premium Friday”を始めましたけど、多くの会社は”Premium Friday”をしていないし、社会の圧力で会社員はあまりにも”Premium Friday”を楽しめません。

アメリカの会社員もよく残業します。Business Insiderによると、2016年にアメリカの会社員は日本の会社員より仕事する時間が多いです。アメリカで過労死の問題がない理由は文化とPTOと残業代の違いだと思います。アメリカでは”individual freedom”が一番大切に、会社のセッティングも日本よりカジュアルです(businessinsider.com)。そして、アメリカの会社員は必要があったらいつもPTOを使えます。そして、US Department of Labourによると、アメリカでは一週間に40時間以上働いたら残業になって、残業代は(1.5 x 給料)です。この違いで、アメリカで残業するのは日本よりやさしいと思います。

Resources:

<http://japan-payroll.com/overtime-pay-of-employees/>

<https://jobsinjapan.com/japan-faq/what-you-need-to-know-about-paid-time-off-when-working-in-japan/>

<https://www.bbc.com/worklife/article/20170413-we-had-to-give-them-bonuses-to-leave-early>

<https://www.bbc.com/worklife/article/20160912-is-there-such-thing-as-death-from-overwork>

<https://www.businessinsider.com/differences-between-japanese-and-american-work-culture-2018-3#in-both-countries-employees-work-long-hours-and-take-few-breaks-5>

<https://www.dol.gov/agencies/whd/overtime>